

甲府市地球温暖化対策実行計画
（区域施策編）
平成26年度年次報告書

平成28年3月

甲 府 市

はじめに

甲府市では、平成 24 年 3 月に「甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（以下「実行計画」）を策定しました。

この実行計画では、まず長期目標年である 2050(平成 62)年の都市像を思い描き、そこに続く道筋の通過点である中期目標の 2020（平成 32）年に向けて、重点的に進めていく取り組みを「7つのアクションプラン」としてまとめ、市民、事業者、NPOそして本市が担うそれぞれの役割を示し、市域一丸となって推進することとしています。

つきましては、2050（平成 62）年の都市像を目指す実行計画の「7つのアクションプラン」では、2020（平成 32）年までの目標（値）を設定していることから、本年次報告書では、そのアクションプランの施策及び取り組みに関する平成 26 年度の実施状況等を報告します。

なお、平成 27 年度は実行計画の見直し年度にあたりますが、本年次報告書（平成 26 年度実績）は、見直し前の実行計画を基に作成しています。

目次

第1章 甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

- 1 実行計画の目的・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 2 実行計画の位置づけ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 3 実行計画の計画期間・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 4 目標年次と削減目標・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- 5 対象とする温室効果ガスの種類・・・・・・・・・・・・・・・・・・2
- 6 対象とする部門・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2

第2章 2014（平成26）年度の施策の実施状況

- 1 7つのアクションプラン・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3
- 2 7つのアクションプラン進捗状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・5
- 3 7つのアクションプラン取り組み状況・・・・・・・・・・・・・・9

第3章 施策の検証

- 1 実行計画の推進体制・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・33
- 2 甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見・・・・・・・・34
- 3 「7つのアクションプラン」における未実施の取り組みについて・・・・35

- 【資料】 甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会委員名簿・・・・・・・・・・36

第1章 甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）について

1 実行計画の目的

- 「甲府市地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」（以下「実行計画」という。）は、平成20年6月に一部改正された「地球温暖化対策の推進に関する法律」に基づき、区域の自然的社会的条件に応じて温室効果ガスの排出の抑制等を行うための施策に関する事項を定めたものです。
- 市民、事業者、行政等の多様な主体の参加・連携により、地域特性に応じた地球温暖化対策の取り組みを推進し、まちづくりの基本目標の一つである「次代に引き継ぐ快適で美しい安らぎのあるまち」〈第五次甲府市総合計画〉の実現を目指すとともに、地球温暖化対策及び省エネルギー対策に貢献することを目的としています。

2 実行計画の位置づけ

- 実行計画は、平成18年度に策定された「新甲府市地球温暖化対策推進計画」を引き継ぐとともに、策定にあたっては本市の総合的かつ計画的な行政運営の指針である「第五次甲府市総合計画」のもと、本市の環境に配慮した行政を展開していくうえで最も基本となる「第二次甲府市環境基本計画」を上位計画とし、本市の都市整備に関わる施策の体系的指針である「甲府市都市計画マスタープラン」等の関係計画や関係施策との連携を図っています。

3 実行計画の計画期間

- 実行計画の計画期間は、短期2012（平成24）年度、中期2020（平成32）年度、長期2050（平成62）年度であり、基準年については、2008（平成20）年度としています。
- 実行計画の第一次実施期間は、2012（平成24）年度から2020（平成32）年度までの9年間とし、前期を2012（平成24）年度から2015（平成27）年度まで、後期を2016（平成28）年度から2020（平成32）年度までとしています。

4 目標年次と削減目標

- 実行計画の温室効果ガスの排出削減目標は、基準年の2008（平成20）年度比で
短期目標は、2012（平成24）年度までに、3%削減
中期目標は、2020（平成32）年度までに、25%削減
長期目標は、2050（平成62）年度までに、80%削減
としています。

5 対象とする温室効果ガスの種類

- 対象となっている温室効果ガスは、二酸化炭素（CO₂）、メタン（CH₄）、一酸化二窒素（N₂O）、ハイドロフルオロカーボン（HFC）、パーフルオロカーボン（PFC）、六フッ化硫黄（SF₆）です。

6 対象とする部門

- エネルギー起源の温室効果ガスについては、国のエネルギー消費の統計上の分類に合わせて、「産業部門」、「民生家庭部門」、「民生業務部門（民間）」、「民生業務部門（公共）」、「運輸部門」としています。
- 非エネルギー起源の温室効果ガスについては、「工業プロセス分野」、「廃棄物分野」、「農業分野」、「代替フロン等3ガス部門」としています。

■ パリ協定と緩和策・適応策

2015（平成27）年12月、フランス・パリで開かれた「国連気候変動枠組み条約第21回締約国会議（COP21）」は、2020年以降の地球温暖化対策の新たな国際的な枠組み「パリ協定」を採択し、世界共通の長期目標として、今世紀後半には温室効果ガスの排出源と吸収源の均衡を達成し、森林・土壌・海洋が自然に吸収できる量にまで、排出量を2050～2100年の間に減らしていくことや、産業革命前からの気温上昇を2℃未満に抑え、また、1.5℃未満になるよう努力することに言及し、日本を含めた参加各国・地域は、温室効果ガスの削減目標の達成や適応策の支援に向けた取り組みを進めていくこととなりました。

また国は、同年7月に国連に提出する温室効果ガスの新たな削減目標を定めるとともに、同年11月に避けられない地球温暖化への影響に対応するための「気候変動の影響への適応計画」を策定し、米の白濁や果樹の着色不良といった品質の低下などの農業への影響や、大雨や台風の増加による水害、土砂災害の頻発化・激甚化などを示し、さらには、動植物の分布・生息域の変化やデング熱を媒介する蚊の分布北上、熱中症搬送者の増加なども予測しています。

今後は、温室効果ガスを削減するため、再生可能エネルギーの最大限の活用と徹底した省エネの推進、新たな技術の革新による緩和策を一層推進するとともに、温暖化への影響に対応する適応策と併せて、官民総力を結集し、経済・社会システムやライフスタイルの変革を含めた、地球温暖化対策を推進していくことが大切です。

第2章 2014（平成26）年度の施策の実施状況

1. 7つのアクションプラン

■ 中期目標である2020（平成32）年度と長期目標である2050（平成62）年度における低炭素社会の実現に向け、特に重点的に進めていく取り組みを「7つのアクションプラン」としてまとめ、それらの取り組みを推進するために市民、事業者、NPO及び本市が担うそれぞれの役割について示しました。

視点	重点プロジェクト	取り組み
人づくり	アクションプラン1 地域の担い手、協働による「わ」の構築 《創出する・実現させる・支え合うひとづくり》 （生涯学習）	(1) 環境教育の推進 (2) 地域の人材育成 (3) 産学官民協働による「わ」の構築
	アクションプラン2 スマートシティ甲府の創造 《エネルギーの地産地消・地域エネルギー自給システムの構築》 （新エネルギーの導入）	(1) 太陽光発電システムの導入促進 (2) バイオマスエネルギーの導入促進 (3) その他の再生可能エネルギーの活用
地域づくり	アクションプラン3 緑の育成、潤いのあるまちづくり 《森林整備・都市緑化・ヒートアイランド対策》 （みどりの対策）	(1) 潤いと光あふれる森づくり(森林整備) (2) 緑あふれるまちづくり(都市緑化)
	アクションプラン4 クリーンエネルギー自動車の普及 《環境にやさしい車社会の構築》 （主に運輸部門の取り組み）	(1) 電気自動車、プラグインハイブリッド車の普及促進 (2) 長期的な取り組み
日々の暮らし	アクションプラン5 スマートライフの推進 《地球にやさしいライフスタイルへの転換》 （ライフスタイルの転換）	(1) 省エネ行動の実践 (2) 住宅・機器による省エネの推進
	アクションプラン6 スマートムーブの推進 《移動を「エコ」に・健康で快適な賢い移動手段への転換》 （ライフスタイルの転換）	(1) エコドライブの推進 (2) エコ通勤・エコ通学等の推進 (3) 公共交通機関の利用促進
	アクションプラン7 循環型社会の構築 《持続可能な社会の実現》 （持続可能な社会の形成）	(1) 廃棄物の3R（Reduce（発生抑制） ・ Reuse（再利用）・Recycle（再資源化））の推進 (2) バイオマス資源の「わ」の構築 (3) 熱回収

《それぞれの役割》

市民

■市民一人ひとりが、日々の暮らしにおいてエネルギーを大量に消費していることを自覚し、太陽光発電などの新エネルギー導入や身近なところから実践する省エネルギー行動、地球環境と調和したライフスタイル転換など、温室効果ガス排出量削減のための行動に積極的に取り組む役割を担います。

事業者

■地域社会の構成員として、自らの企業活動と環境・エネルギー問題との係りを十分に理解し、これらに留意した企業理念や行動指針を確立するなど、企業市民として地域社会や地域環境の保全に積極的に取り組む役割を担います。

学識経験者

■地球温暖化やエネルギー関連の分野の知識を活かし、効果的かつ確実な地球温暖化対策を甲府市全域で取り組めるように助言を行う役割を担います。

NPO

■各団体の知識や経験、専門性を活かして、日々の暮らしの中の地球温暖化対策や省エネルギーの情報提供、新エネルギーの設置(市民共同立発電等)、普及啓発・環境教育の実施など、市民及び事業者の自発的な取り組みを支援する役割を担います。また、地球温暖化対策に取り組むリーダー的存在、市民・事業者との連携の橋渡しの役割を担います。

甲府市

■市は、率先して公共施設への新エネルギー導入を行うとともに、市民・事業者による新エネルギー導入に対する支援を行う役割を担います。また、積極的に省エネルギー行動に取り組むとともに、情報提供・相談窓口など、地球温暖化及びエネルギーに関する広報活動、情報提供を行う役割を担います。さらに、生涯学習や子供たちの環境学習などの場の創出に努め、市民の知識を深める機会を提供する役割を担います。

2. 「7つのアクションプラン」進捗状況

■目標値が定量化されている取り組みの実績については数値、進捗率については%で表し、また、目標値が定量化されていない取り組みの実績については「実施」「未実施」とし、進捗率については「実施：○」「未実施：×」「一部実施：△」で表しました。

■温室効果ガスの排出量の算定にあたっては、平成26年度の東京電力調整後排出係数0.000496 t-CO₂/kWhを使用しました。（一部例外を除く）

アクションプラン1 地域の担い手、協働による「わ」の構築《人づくり》			
取り組み	2020（平成 32） 年度の目標値	2014（平成 26） 年度の実績	進捗率
（1）環境教育の推進			
幼稚園・保育園・小学校 における環境教育の推進	環境教育事業への参加児童数 延べ 14,000 人	1,758 人 (延べ 5,314 人)	38.0%
地域・家庭における環境 教育の推進	環境教育参加者数 延べ 67,000 人	11,135 人 (延べ 33,254 人)	49.6%
（2）地域の人材育成			
地域コーディネーターの 育成	地域コーディネーター数 延べ 100 人	5 人 (延べ 59 人)	59%
市民・事業者等による「ス マート宣言」の取り組み	スマート宣言者数 延べ 1,000 人	未実施	0%
（3）産学官民協働による「わ」の構築			
多様な担い手による活動 の推進	セミナー開催数延べ 20 回	10 回 (延べ 41 回)	205%

アクションプラン2 スマートシティ甲府の創造《地域づくり》			
取り組み	2020（平成 32） 年度の目標値	2014（平成 26） 年度の実績	進捗率
（1）太陽光発電システムの導入促進			
公共施設への積極的導入	温室効果ガス削減量 200 t -CO ₂	削減見込 14.88t-CO ₂ (延べ 181.6 t -CO ₂)	90.8%
住宅用太陽光発電システ ムの導入促進	温室効果ガス削減量 4,600 t -CO ₂	削減見込 1,058.03 t -CO ₂ (延べ 3,813.6 t -CO ₂)	83.0%
事業者への太陽光発電シ ステムの導入促進	温室効果ガス排出削減量 8,000 t -CO ₂	8,464.5 t- CO ₂ ※ (H27.3 月末時点)	105.8%
市民共同発電の推進	市民、NPO等との連携による 推進	実施	○
※資源エネルギー庁「固定価格買取制度情報公表ウェブサイト」平成 27 年 3 月末時点市区町村別導入量(B 表)の太陽光発電設備 10kw 以上の実績による			

(2) バイオマスエネルギーの導入促進			
木質ボイラー・ストーブ等の普及促進	市民、NPO等との連携による推進	実施	○
果樹剪定枝等の活用	果樹剪定枝年間利用量 450 t /年	55.7 t	12.4%
バイオディーゼル燃料 (BDF) の利用促進	廃食用油回収量 8,500 リットル/年	4,820 リットル	56.7%
下水汚泥の利用検討	メタン発酵施設の導入によるエネルギー利用の検討	実施	○
(3) その他の再生可能エネルギーの活用			
太陽光以外の再生可能エネルギーの導入検討	太陽光以外の再生可能エネルギーによる温室効果ガス排出削減量 200 t-CO ₂	削減見込 12 t-CO ₂ (延べ 20.4 t-CO ₂)	10.2%

アクションプラン3 緑の育成、潤いのあるまちづくり《地域づくり》			
取り組み	2020 (平成 32) 年度の目標値	2014 (平成 26) 年度の実績	進捗率
(1) 潤いと光あふれる森づくり (森林整備)			
森林整備の推進	森林による温室効果ガス吸収量 37,200 t-CO ₂	37,200 t-CO ₂	100%
県産材等木材の公共建築物等への利用促進	施設改修工事の際などの県産材等木材の利用	実施	○
森林の保護、育成に関する意識の醸成	森林関係イベント等の開催	実施	○
(2) 緑あふれるまちづくり (都市緑化)			
育てる緑の推進	緑のカーテンモニター数 延べ 1,000 人	85 人 (延べ 326 人)	32.6%
建物、道路等のヒートアイランド対策の推進	遮熱塗装等の推進	実施	○
農地の活用	耕作放棄地の利用	実施	○

アクションプラン4 クリーンエネルギー自動車の普及《日々の暮らし》			
取り組み	2020 (平成 32) 年度の目標値	2014 (平成 26) 年度の実績	進捗率
(1) 電気自動車、プラグインハイブリッド車の普及促進			
充電設備の整備	急速充電器市内 10 か所	急速充電器 8 か所	80%
	普通充電器市内 50 か所	普通充電器 19 か所	38%

需要の創出	公用車への電気自動車の導入 35台	3台 (平成26年度末)	8.6%
普及啓発活動	イベント、シンポジウム等への参加人数延べ1,000人	45名	4.5%
(2) 燃料電池車等の導入検討			
燃料電池車の導入検討	実用化レベルに対応して導入を検討	実施	○
観光地におけるEV導入モデルの検討	自然環境保全、観光振興の観点から導入を検討	実施	○

アクションプラン5 スマートライフの推進《日々の暮らし》			
取り組み	2020(平成32) 年度の目標値	2014(平成26) 年度の実績	進捗率
(1) 省エネ行動の実践			
エネルギーの見える化の推進	見える化機器モニター 延べ200件	0件 (述べ33件)	16.5%
省エネ行動の普及啓発	省エネ行動による温室効果ガス削減量 19,500 t-CO ₂	6,389.53 t-CO ₂	17.1%
甲府市環境コミュニティの創出	地球温暖化対策に関するウェブサイトの創設	実施	○
本市の率先的省エネ行動の推進	事務事業による温室効果ガス削減量 25%	70,996,620kg-CO ₂ ※	基準年比 2.2%増
(2) 住宅・機器による省エネの推進			
省エネ住宅の普及促進	省エネ住宅の普及による温室効果ガス削減量 850 t-CO ₂	削減見込 119.35 t-CO ₂ (延べ 406.45 t-CO ₂)	47.8%
高効率給湯器の普及促進	高効率給湯器の普及による温室効果ガス削減量 9,000 t-CO ₂	削減見込 102.4 t-CO ₂ (延べ 297.28 t-CO ₂)	3.3%
LED照明の普及促進	照明の高効率化による温室効果ガス削減量 16,500 t-CO ₂	削減見込 2,603.30 t-CO ₂	15.9%
公共施設、道路、公園等照明の高効率化	公共施設の照明の効率化による温室効果ガス削減量 4,500 t-CO ₂	削減見込 115.86 t-CO ₂ (延べ 145.77 t-CO ₂)	3.2%

※「平成26年度甲府市役所における温室効果ガス排出量等実態調査の概略」に基づく温室効果ガス総排出量であり、電気の使用に伴う排出量は平成25年度の東京電力調整後排出係数 0.000521t-CO₂/kWh を使用しています。

アクションプラン6 スマートムーブの推進《日々の暮らし》			
取り組み	2020（平成32） 年度の目標値	2014（平成26） 年度の実績	進捗率
（1）エコドライブの推進			
エコドライブの推進	講習会参加人数 延べ1,000人	336人 (延べ654人)	65.4%
（2）エコ通勤・エコ通学等の推進			
公共交通機関、自転車、徒歩等による通勤の推進	エコ通勤優良事業所数 100ヶ所	2社	2%
電動アシスト自転車、電動バイクの普及促進	電動アシスト自転車等の普及	実施	○
（3）公共交通機関の利用促進			
公共交通機関の利便性の増進	甲府市公共交通体系基本構想の推進	実施	○
コミュニティサイクル事業の検討	レンタサイクル事業の継続、拡大	実施	○

アクションプラン7 循環型社会の構築《日々の暮らし》			
取り組み	2020（平成32） 年度の目標値	2014（平成26） 年度の実績	進捗率
（1）廃棄物の3Rの推進			
資源物排出の利便性の向上	24時間ステーションを年次的に設置	実施	○
ごみの分別回収による減量化、再資源化の推進	プラスチック製容器包装、小型家電の分別回収の実施	未実施（プラスチック製容器包装） 実施（小型家電）	△
リサイクルプラザの利用促進	利用人数70,000人/年	64,171人	91.7%
（2）バイオマス資源の「わ」の構築			
生ごみの減量化、再資源化の推進、落ち葉の堆肥化の検討	生ごみ処理器（機）の普及 200件/年	54件	27.0%
菜の花プロジェクト等の推進	地域による実施	実施	○
（3）熱回収			
熱回収の検討	未利用熱エネルギーの有効利用の検討	未実施	×

地域の担い手、協働による「わ」の構築 ～創出する・実現させる・支え合うひとづくり～

イチ押しの取り組み

●バスの出前授業 【山梨交通株式会社】

《内容》

小学校や支援学校などの児童・生徒を対象として、バスと講師を学校に派遣する「バスの出前授業」を継続的に行なっています。

自家用車保有率が高い本県においては、幼少期にバスなどの公共交通機関を利用する機会が少ないことから、主に小学校低学年の課外授業として、バスのことを知り、実際に乗ってみる体験を提供しています。

《ポイント》



地球温暖化対策として、マイカー依存から公共交通への転換を促進する上で、公共交通の役割や正しい利用方法などを学ぶことで「環境にやさしい乗り物」としての公共交通機関に対する理解と興味を醸成し、利用を促進することを目的としています。

出前授業では、ボンネットバスなどの過去に活躍したバスと、現在利用されているCNGバス、ノンステップバスなどを使って、バスの歴史や役割を楽しく、分かりやすく説明し、バスを身近に感じ、興味を持ってもらうよう工夫しています。

また、学休期には、1乗車定額で路線バスにどこまでも乗れる「小学生50円運賃」、「学生100円運賃」を実施し、実際のバス利用を促進しています。

《平成26年度実績 3校 222人》

◆お問い合わせ先：山梨交通株式会社バス事業部 TEL 055-223-0821

(1) 環境教育の推進

《取り組みの内容》

保育園・幼稚園・小学校における環境教育の推進

<本市の取り組み>

◆小学5、6年生対象の「kid' sIS014000 プログラム」

：実施校 6校、参加児童数 499人

- ◆保育園等対象のペープサート上演 : 実施園数 12 園、参加園児数 720 人
- ◆小学 4、5、6 年生対象の「太陽エネルギー体験教室」
: 実施校 10 校、参加児童数 539 人 (NPO 法人みどりの学校との協働)
- ◆環境教育副読本『環境にやさしい街 甲府』の作成・配布
: 市内小学校 4 年生に配布 1,835 冊
- ◆ごみへらし隊による保育園・幼稚園・小学生を対象とした環境教育講座の開催
: 開催回数 76 回、参加児童数 4,111 人
- ◆市内小中学校 4 校の学校林活動への協力 (森林体験): 参加児童・生徒数 927 人
- ◆市内小学校 3 校の出前講座 (森林と水) の開催 : 参加児童数 106 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【山梨交通株式会社】

- ◆小学校低学年・支援学校生を対象とした「出前授業」乗車体験
: 参加学校数 3 校、参加児童・生徒数 222 人

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆目指す「2050 年の甲府市の姿」を多様な方法により、あらゆる教育現場に活かし、児童・生徒に未来のイメージ化を図る。 : 実施数 32 校
- ◆循環型エネルギー施設・設備の設定によりミニスマートライフ、省エネを日常的に体験させる。 : 実施数 34 校
- ◆教育課程における環境教育の中で、甲府市の重点プロジェクトを学ぶ時間を位置づける。(1、2 年は生活科、3 年は総合、4 年は社会、総合、5、6 年は理科、総合) : 実施数 35 校
- ◆児童会活動の中で、環境問題に取り組む活動の実施 (エコキャップ集め、ゴミの分別、牛乳パック回収、ゴミ拾い愛町奉仕作業等) : 実施数 36 校

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆甲府市と協働で太陽エネルギー体験教室、地球温暖化防止センターと協働で地球温暖化防止教室、エコティーチャー等として学習会の開催
: 実施回数 11 回、参加児童数 692 人

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆山梨県地球温暖化防止活動推進員等の活動支援として、温暖化防止教室への講師派遣 : 学校への派遣回数 20 回、受講者数 600 人
- ◆子供向け温暖化防止パンフレットを温暖化防止教室において配布
: 配布数 1,200 部

地域・家庭における環境教育の推進

<本市の取り組み>

- ◆環境リサイクルフェアの開催 : 参加者数 7,200 人
- ◆ごみへらし隊による自治会や個人グループへの出前講座(ごみへらしま専科)の開催 : 開催回数 111 回、参加者数 3,935 人
- ◆なでしこフェア、もってけ市の開催 : 参加者総数 950 人
- ◆出前講座「ごみへらしま専科」、「地球温暖化について」、「身近な環境問題について」 : 開催数 1 回(「地球温暖化について」)
- ◆市民農園を活用した、自然・農業とふれあう環境教育の推進
- ◆農林業まつりでの「木工体験コーナー」において、親子で木工を体験してもらい、木の温かみを学ぶ : 参加者数 400 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【甲府商工会議所】

- ◆環境問題に取り組む「人づくり」と環境と経済を両立させた「持続可能な社会」の促進を目指す「eco 検定」の周知 : 受験者数 87 人

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆事業者や NPO と連携し、専門性を活かした出前授業や体験学習の実施 : 実施数 22 校
- ◆家庭や地域との連携による、荒川河川敷清掃、親子クリーン作戦、地域の清掃活動の実施 : 実施数 32 校

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆環境関連出前講座の実施
「手漉きハガキ」、「自然派! お掃除」、「廃食用油リサイクル(エコキャンドル作り)」 : 講座の開催 全県で 27 回 161 人(うち甲府市内は 2 回 56 人)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆地球温暖化防止活動推進センターと協働で地球温暖化防止教室、エコティーチャーとして学習会やワークショップを開催 : 開催数 7 回、参加者数 228 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆山宮保育園における太陽光発電 3 周年記念イベントと、太陽光発電を中心とした園児・保護者向け環境教育の実施 : 参加者(園児・保護者)数 90 人
- ◆環境イベント等での省エネ・廃棄物削減の普及啓発
環境リサイクルフェアにおいてエコプレート配布(参加者数 300 人)、「緑のカーテン」づくりセミナー(参加者数 85 人)、地球温暖化防止と自然エネルギー推進セミナー(参加者数 62 人)を開催した。
- ◆協議会の Web サイトにて、協議会の活動内容紹介と、温暖化対策や補助金制度に関する情報提供 : Web サイトアクセス数 3,960 件

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】（再掲）

- ◆山梨県地球温暖化防止活動推進員等の活動支援として、温暖化防止教室への講師派遣 : 学校への派遣回数 20 回、受講者数 600 人
- ◆子供向け温暖化防止パンフレットを温暖化防止教室において配布 : 配布数 1,200 部

（２）地域の人材育成

《取り組みの内容》

地域コーディネーターの育成

<本市の取り組み>

- ◆スマートフロンティア甲府と協働で、地域コーディネーター（スマートライフスタイルコーディネーター）を養成 : 養成者数 5 人

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【東京電力㈱山梨支店甲府支社】

- ◆東京電力 HP で、「電気の上質な使い方・選び方について、電気の省エネ術、でんき家計簿等」で情報提供

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆環境省家庭エコ診断制度「うちエコ診断」として「うちエコ診断士」を養成 : 診断士の登録 2 人

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆スマートフロンティア甲府メンバーとして、地域コーディネーター（スマートライフスタイルコーディネーター）養成講座にて、自然エネルギークッキング（太陽熱利用：ソーラークッキング、木質バイオマス利用：ロケットストーブクッキング）教室を実施した。 : 開催数 2 回、参加者数 110 人

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆地球温暖化対策推進員研修会の開催 : 開催 1 回、参加者数 35 人

(3) 産学官民協働による「わ」の構築

《取り組みの内容》

多様な担い手による活動の推進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策地域協議会との協働で、「緑のカーテンセミナー」開催をはじめ、各種講習会及び気候変動に関するセミナーを開催した。
- ◆スマートフロンティア甲府との協働により、スマートライフスタイルコーディネーター養成講座やコーディネーターのスキルアップセミナー、また一般市民向けの特別講演会「次世代エネルギーと交通インフラ」などのセミナーを開催した。
- ◆平成27年3月、事業者、NPO等との協働による「甲府市環境プログラム」を策定し、17協働実施者から27件のプログラムを登録した。
- ◆スマートフロンティア甲府が養成した「スマートライフスタイルコーディネーター」が自ら発案、企画するスマートプロジェクトにより、地域における省エネの推進や温暖化対策に貢献する取り組みが、3件実施された。

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【NPO法人みどりの学校】

- ◆市民立共同発電所の運営モデルについての情報提供
山城地区・山宮地区の市民立共同発電所についての啓発活動の実施 : 開催数 2回、参加者数 181人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆山梨県内の環境関連団体との連携の拡大
 - ① 県内の地球温暖化対策地域協議会との交流会の参加、および連携の充実
 - ② 「広がれエコスタジアム小瀬」実行委員会との連携
 - ③ その他の団体・企業・学校等との連携

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆温暖化防止地域協議会の交流会（H26.12月北杜市）の開催 : 参加者数 30人

スマートシティ甲府の創造 ～エネルギーの地産池消・地域エネルギー自給システムの構築～

イチ押しの取り組み

●住宅用太陽光パネルの相談対応・健康診断 【NPO 法人みどりの学校】

《内容》

住宅への太陽光パネルの設置が普及してきましたが、老朽化により不具合が発生するケースも出てきています。NPO 法人みどりの学校では、パルシステム連合会の支援を受け、太陽光パネルの不具合等の相談を受け、必要があれば調査や検査をして、機器のメンテナンスを促しています。

《ポイント》

平成 26 年度は、県全体で 22 件の相談があり、うち 20 件の調査等を行ったところ、2 件で不具合が見つかりました。

手順としては、事前に設置時期、機種など確認の上、電気工事士と、太陽光発電アドバイザー資格を持つみどりの学校メンバー2人が設置場所へ伺い、太陽光発電機器の1つ「パワーコンディショナー」が順調に稼働しているか、専用の機器を使って検査します。



パワーコンディショナーの寿命は太陽光パネルより早く、約 15 年といわれています。

パワーコンディショナーに不具合があると、パネルで発電した電力が反映されず、発電量が低下してしまいます。不具合が見つかった場合、修理等を行えば、また順調に稼働します。

◆お問い合わせ先：NPO 法人みどりの学校 TEL090-9373-2345（専用携帯電話）

（1）太陽光発電システムの導入促進

《取り組みの内容》

公共施設等への積極的導入

＜本市の取り組み＞

◆中道交流センターへの太陽光発電システムの設置 : 1 基、20kW

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【NPO法人みどりの学校】

- ◆市民立共同発電所の運営モデルについての情報提供（再掲）
山城地区・山宮地区の市民立共同発電所についての啓発活動の実施
：開催数 2回、参加者数 181人

住宅用太陽光発電システムの導入促進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度（住宅用太陽光発電システム導入に対する助成） ；助成件数 439件

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【NPO法人みどりの学校】

- ◆太陽光発電システム導入、エネルギーの賢い使い方についてのノウハウの提供
メンバーが地球温暖化防止活動推進センターと協働で、太陽光発電アドバイザー・インストラクターとして、各種イベント等での啓発活動を行った。
：実施回数 19回、参加者数 200人

- ◆住宅用太陽光発電パネルの相談対応・健康診断
住宅に設置された太陽光発電パネルの不具合等の相談を受け、調査し、メンテナンスを促す。 ；健康診断 8件（県全体では20件）

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆山宮保育園太陽光発電施設を活用し、発電量モニタリング結果等開示による導入促進の啓発活動を開催 ；開催数 3回

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆住宅用スマートエネルギー設備設置費補助金（山梨県事業）の申請受付窓口
：HEMS導入80件

事業者への太陽光発電システムの導入促進

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆クリーンエネルギー（太陽光発電）システムの導入【パイオニア・マイクロ・テクノロジー（株）・パナソニック ファクトリーソリューションズ（株）・横河マニュファクチャリング（株）・（株）サンニチ印刷・（株）東日製作所】
：発電量 計872,284kwh パネル枚数4,804枚

市民共同発電の推進

<本市の取り組み>

- ◆「甲府市市民立共同発電事業助成金制度」により、NPO（市民団体）等が実施する自然エネルギー発電設備を設置運営した費用の一部を助成し、CO₂の削減を図る。 : 1件「山城地区市民立共同発電所」

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【NPO法人みどりの学校】

- ◆市民立共同発電所の運営モデルについての情報提供（再掲）
山宮保育園共同発電所3周年記念イベント、また市民参加の持続可能な社会作りセミナーで市民立共同発電所づくりについても紹介した。

(2) バイオマスエネルギーの導入促進

《取り組みの内容》

木質ボイラー・ストーブ等の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金制度（木質ペレットストーブ導入に対する助成） : 助成件数 9件
- ◆中道交流センター休憩室（風土記の丘農産物直売所内）の暖房用として、木質ペレットストーブを1基導入した。

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆木質ペレットストーブを2台設置（西桂センター、一宮センター）
: ペレット使用量 3,190kg

【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆木質バイオマス燃料利用施設の事業者向け見学会の開催（山梨県委託事業）
: 参加者数 49人
- ◆「やまなし木質バイオマス情報交換会」の開催（山梨県委託事業）
: 開催数 2回、参加者数 130人
- ◆木質ボイラー導入希望者に対し、県外から専門技術者を派遣し、化石燃料との経済性の比較や、導入に対する適正規模等の導入診断を行う。: 派遣件数 6件
- ◆木質ボイラー・ストーブの普及促進のため、環境リサイクルフェアへの出展
- ◆木材利用ポイント事業の普及啓発木材利用シンポジウム『木で未来をつくろう』に参加し、木材利用ポイント制度を活用することにより、通常よりも安価で木質ストーブを購入できることをPRした。 : 参加者数 100人

果樹剪定枝等の活用

<本市の取り組み>

- ◆モデル地区におけるぶどうの剪定枝の特別収集と有効利用：収集量 55.69t

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【甲府市自治会連合会】

- ◆甲府市のモデル地区におけるぶどうの剪定枝の特別収集に協力
：3地区 甲運地区、山城地区、里垣地区

バイオディーゼル燃料（BDF）の利用促進

<本市の取り組み>

- ◆食用油（廃食油）の回収及び回収場所の提供：回収量 4,820ℓ
- ◆収集車両でのBDFの利用：導入車両 1台、BDF利用量 80ℓ
- ◆スマートフロンティア甲府と協働により、BDF生成時の副産物であるグリセリンを有効活用するため、環境リサイクルフェアにおいて、グリセリン由来の洗剤の配布と、使用した感想についてのアンケートを実施した。

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【山梨交通株式会社】

- ◆関連事業所からの廃食油を回収し、BDFを自社精製し、営業車両（バス2両・トラック1両）の軽油代替燃料として使用
：廃食油回収量 24,000ℓ、BDF製造・使用量 19,200ℓ（49,536kg-CO₂削減）

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆組合員から廃食油を回収し、県内NPO法人に引き渡し、バイオディーゼルへ燃料化した：回収量 7,420ℓ

【NPO法人みどりの学校】

- ◆廃食油回収、菜の花栽培への協力、啓発活動
廃食油回収キャラバンへの参加、菜の花栽培・収穫への協力、各種学習会での啓発活動等の実施：開催数 3回、参加者数 120人

下水汚泥の利用検討

<本市の取り組み>

- ◆下水汚泥焼却灰を「構造用人工軽量骨材」の原料として再利用
：再利用率 691.66 t

(3) その他の再生可能エネルギーの活用

《取り組みの内容》

太陽光以外の再生可能エネルギーの導入検討

<本市の取り組み>

- ◆新庁舎における地中熱の熱源利用
- ◆上下水道における再生可能エネルギーの利活用として、山宮減圧槽に小水力発電を設置し、平成 21 年 4 月より運営開始
：平成 26 年度総発電量 1,227,950kWh (651 t -CO₂ 削減)

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆小水力発電の普及促進
小水力発電施設（カワセミ 1 号）の運転開始・見学会、及び小水力発電候補地の調査・企画を行う。 : 見学会の開催 5 回

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆太陽熱温水器の利用促進のための情報提供（太陽熱アドバイザー・インストラクターとして、太陽熱温水器の利用促進のため、各種学習会での情報提供や、うちエコ診断士として、パルシステム組合員への情報提供）

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆地域資源活用コンソーシアム
再生可能エネルギー機器 135 件、木質バイオマス機器 85 件、合計 220 件の機器を新たに導入し 500 t 余りの CO₂ 削減に貢献した。

緑の育成、潤いのあるまちづくり

～森林整備・都市緑化・ヒートアイランド対策～

イチ押しの取り組み

●地域の未利用材を利用した薪づくり 【やまなし木質バイオマス協議会】

《内容》

「所有する山林の手入れができずに困っている方」「薪を手軽に手に入れたいと思っている薪ストーブユーザー」「未利用材を有効利用したい林業事業者」を当協議会が結びつけ、未利用材の有効利用と、木質ボイラー・ストーブの普及促進を図るため、薪づくり研修会2回と、甲府市帯那山における薪集め原木販売会を実施しました。

《ポイント》

地域にある未利用の森林資源を、木質燃料として暖房等へ利用することが普及すれば、化石燃料の代替として木質燃料の使用量が増え、CO₂排出量の削減が期待できます。また、このことは、森林整備にも繋がり、CO₂吸収量の増加も期待できます。

さらに、薪は災害用備蓄品にもなります。災害発生時に電気、ガスなどのインフラがストップしても、きちんと乾燥した薪があれば、暖を取ることで、明かりを灯すこと、お湯を沸かすこと、調理をすることができます。



◆お問い合わせ先：やまなし木質バイオマス協議会 TEL 055-225-6834

(1) 潤いと光あふれる森づくり（森林整備）

《取り組みの内容》

森林整備の推進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市有林（人工林）の間伐事業 : 実施面積 5.74ha
- ◆民有林の人工林整備の実施 : 下刈面積 11.39ha、
- ◆森林病虫害防除事業の実施 : くん蒸処理数量 598 m³ くん蒸処理本数 639 本
薬剤処理数量 92 m³ 薬剤処理本数 122 本
- ◆間伐材の有効活用 : 販売数量 157 m³

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【中央森林組合】

- ◆間伐整備（甲府市の民有林で間伐材搬出）：搬出材積 40 m³
- ◆民有林の下草刈り：下草刈り面積 9.67ha

【やまなし木質バイオマス協議会】

- ◆地域の間伐材を利用した薪づくり
木質ボイラー・ストーブの普及促進を図るため、薪づくりの研修会を2回開催し、甲府市帯那山にて薪集め原木販売会を実施した。：参加者数 50人

県産材等木材の公共建築物等への利用促進

<本市の取り組み>

- ◆平成26年度に完成した中道交流センターの農産物直売所の売り場、休憩室及び公民館図書室の一部、資料コーナー等の腰壁部分に県産材を使用した。

森林の保護、育成に関する意識の醸成

<本市の取り組み>

- ◆「水源林植樹の集い」の推進：悪天候によりイベントは中止となったが、植栽を900本（0.3ha）実施した。
- ◆市有林を開放し、間伐体験・ネイチャーゲームの実施
：参加団体数 1団体、参加者数 50人
- ◆農林業まつりでの「木工体験コーナー」において、親子で木工を体験してもらい、木の温かみを学ぶ（再掲）：参加者数 400人

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【中央森林組合】

- ◆里山林の整備：再生面積 15.5ha

（2）緑あふれるまちづくり（都市緑化）

《取り組みの内容》

育てる緑の推進

<本市の取り組み>

- ◆ゴーヤ苗を公共機関等に配布し、緑のカーテンを普及促進する。
：苗の配布数 幼稚園等 1,127本、小学校 576本、公共施設 349本
- ◆甲府市地球温暖化対策地域協議会と協働で、緑のカーテンづくりセミナーを開催し、ゴーヤ苗を配布：参加者数 85人
- ◆市立甲府病院の壁や窓に緑のカーテンを設置

- ◆生垣設置助成 : 生垣整備距離 103.6m
- ◆花いっぱい緑いっぱい運動の推進 (6種類の花苗の配布)
 - : 参加団体数 113 団体、花苗配布数 114,612 株
- ◆市民緑化教室の開催 : 開催数 5 回
- ◆新築記念樹事業の推進 : 新築記念樹配布数 25 件
- ◆事業所等の緑化指導 : 助成事業所数 6 件 1,400.39 m²
- ◆公園利用者に、自主的な美化活動を行う公園美化活動団体の設立を促す。
 - : 設立団体数 20 団体
- ◆市保存樹木制度による樹木の指定 : 指定本数 11 本

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆ブドウ及びゴーヤによる緑のカーテンづくりに挑戦
 - <団地内企業全体 (会員企業 14 社・事務局を含む)> : カーテン面積 452 m²

【甲府市公立小中学校長会】

- ◆学校等における緑のカーテンづくりの実施 : 実施校数 34 校

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆事業所 (本部、甲府センター、一宮センター、西桂センター) での緑のカーテンの実施 : 実施事業所数 4 事業所
- ◆事業所 (本部、一宮センター) での屋上緑化の実施
 - : 実施事業所数 2 事業所

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆緑のカーテン、屋上緑化、緑化透水性舗装等の啓発活動
 - : 実施回数 41 回 参加者数 935 人
- ◆屋根緑化の情報提供 (小瀬エコブースでのエコクイズはじめ、各種学習会にて)
 - : 実施回数 3 回 参加者数 150 人

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆会員によるゴーヤ苗の栽培と緑のカーテンの実践。栽培したゴーヤ苗を学校や公共施設等に配布し、緑のカーテンの普及啓発を実施。また、緑のカーテンセミナーを開催し、参加者に苗を配布。
 - : 緑のカーテン実施本数 (配布数) 2,392 苗
- ◆会員宅にて、ブドウによる緑のカーテンの育成支援とデータの収集

建物、道路等のヒートアイランド対策の推進

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆駐車場等の透水性緑化舗装の情報提供 (小瀬エコブースでのエコクイズはじめ、各種学習会にて) (再掲) : 実施回数 3 回 参加者数 150 人

農地の活用

<本市の取り組み>

◆耕作放棄地の再生整備

農地の再生利用に向けた機械の貸付を行うとともに、荒廃農地の再生相談等の指導を行った。

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

◆市民農園的な展開「パルファーム山梨」

組合員の希望者に市民農園を貸し出す。

：利用者 9団体、利用区画数 11区画（99坪）（圃場は中央市）

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

◆野菜の地産地消によるフードマイレージ削減の推進

：取組面積 0.5ha、2.53 t -CO₂削減

クリーンエネルギー自動車の普及 ～環境にやさしい車社会の構築～

イチ押しの取り組み

●急速充電器の整備 【甲府市企画部南北地域振興課・環境部減量課】

《内容》

甲府市では、「甲府市役所本庁舎」に加え、平成26年度には、新たに「甲府市中道交流センター」及び「甲府市リサイクルプラザ」にも、電気自動車用の急速充電器を設置しました。これらの急速充電器は一般開放しており、どなたでもお使いいただけます（利用可能時間など、詳しくは施設にお問い合わせください）。

《ポイント》

・甲府市中道交流センター

当施設は、中央道甲府南IC出入口の東側、まさに甲府の南の玄関口と呼ぶにふさわしい場所に位置しています。急速充電器を2基設置し、市民の皆様はじめ、県内外から甲府を訪れる方々をお迎えしています。充電の待ち時間には、休憩・情報コーナーや、旬の野菜や果物などを豊富に取り揃える農産物直売所にお立ち寄りいただけます。



中道交流センター充電器の様子

・甲府市リサイクルプラザ

市内の充電インフラ整備が進むことは、電気自動車の普及促進に寄与し、ガソリン車の使用によるCO₂排出量の削減に繋がります。

また、当施設内には図書コーナーや温水プールがあり、児童や生徒の利用者もあることから、電気自動車を身近に感じ、興味や理解の醸成に繋がることを期待しています。

◆お問い合わせ先：甲府市企画部南北地域振興課 Tel 055-237-1173

甲府市環境部減量課 Tel 055-241-4327

◆急速充電器の利用に関するお問い合わせ先：

風土記の丘農産物直売所（甲府市中道交流センター内）Tel 055-266-3858

甲府市リサイクルプラザ Tel 055-241-4357

(1) 電気自動車、プラグインハイブリッド車の普及促進

《取り組みの内容》

充電設備の整備

＜本市の取り組み＞

- ◆急速充電器の設置 : 中道交流センター2基、リサイクルプラザ1基

需要の創出

＜市民、事業者、NPOの取り組み＞

【国母工業団地工業会】

- ◆社有車への電気自動車の導入【(株)甲府明電舎】 : 台数 1台

【甲府商工会議所】

- ◆公用車として導入しているEV車で市内巡回し、普及啓発を図る : 台数 1台

普及啓発活動

＜本市の取り組み＞

- ◆スマートフロンティア甲府と協働で、特別講演会「次世代エネルギーと交通インフラ～燃料電池車と電気自動車～」(H26.8月市環境センター)を開催した。

＜市民、事業者、NPOの取り組み＞

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆協議会員(1人)によるハイブリット車のモニタリングの実施

【東京電力(株)山梨支店甲府支社】(情報提供)

- ◆「山梨県次世代自動車充電インフラ整備ビジョン」および「(PHV・PHEV・EV)充電インフラ普及支援プロジェクト」の動向に関わる情報提供の実施

(2) 燃料電池車等の導入検討

《取り組みの内容》

燃料電池車の導入検討

＜本市の取り組み＞

- ◆山梨県「やまなしFCV(燃料電池車)モーターショー」に参加し、情報収集に努めるとともに、導入について関係部署と協議検討を行った。

観光地におけるEV導入モデルの検討

＜本市の取り組み＞

- ◆先進的な取り組みを行っている自治体の事例や情報の収集を行った。

スマートライフの推進

～地球にやさしいライフスタイルへの転換～

イチ押しの取り組み

●甲府市温暖化対策情報サイト「こうふのeco」 【甲府市環境部環境保全課】

《内容》

甲府市では「甲府市温暖化対策情報サイト「こうふのeco」を活用し、市民・事業者・NPO団体等・行政それぞれの地球温暖化対策や、甲府市地球温暖化対策実行計画に関する情報をわかりやすく発信しています。



このサイトでは、市からの情報発信だけでなく、地球温暖化対策情報について誰でも自由に書き込める掲示板「わいわい広場」や、ツイッター機能と備えており、どなたでも気軽に情報の入手や発信、交換をすることができます。

◆お問い合わせ先：甲府市環境部環境保全課 TEL 055-241-4312

(1) 省エネ行動の実践

《取り組みの内容》

エネルギーの見える化の推進

<本市の取り組み>

◆うちエコ診断事業 : 診断件数 17件 (11,326 t-CO₂削減)

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【国母工業団地工業会】

◆生産ラインにおけるエネルギー無駄ゼロに導くIT活用事業による年間購入電力の削減：年間購入電力量前年比9,955kwh削減（会員1社による取り組み）

【生活協同組合パルシステム山梨】

◆うちエコ診断の実施

: 診断件数 12件（うち甲府市在住は5件、3,335 kg-CO₂削減）

省エネ行動の普及啓発

<本市の取り組み>

◆広報「こうふ」や地球温暖化情報サイト「こうふのeco」において、「スマートライフ通信」の掲載 : 掲載数 12回（毎月）

＜市民、事業者、NPOの取り組み＞

【東京電力(株)山梨支店甲府支社】(側面的支援)

- ◆市広報に掲載されている「スマートライフ通信」へ有益情報を提供することにより、市民への電気に関わる啓発活動を支援。

「でんき家計簿」を促進することで、省エネ意識の醸成活動を展開し、ライフスタイルに合った省エネ手法などの様々なアドバイスが可能。

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆WebサイトエコアクションClub(電気使用量を報告、前年同月及び同人数世帯平均との比較で省エネ行動につなげる): 参加延べ人数 700人(県全体)

【甲府市地球温暖化対策地域協議会】

- ◆協議会委員による各種省エネ行動の実践

山梨県環境家計簿への参加による省エネ行動の実践、ライトダウンやまなしへの後援と各委員の実践、市減量課で配布している落葉堆肥化キットを自宅にて使用 : 参加者数 35人

【山梨県地球温暖化防止活動推進センター】

- ◆推進員による環境家計簿への取り組み : 調査件数 298件、261kg-CO₂削減

甲府市環境コミュニティの創出

＜本市の取り組み＞

- ◆地球温暖化対策ウェブサイト「こうふのeco」の活性化 : トップページへのアクセス数 1,138件

＜市民、事業者、NPOの取り組み＞

【東京電力(株)山梨支店甲府支社】

- ◆市Webサイト創設への当社HP内の有益情報をリンクすることで、省エネ施策の側面的支援を展開。

電気機器の上手な使い方・選びかた、電気の省エネ術、でんき家計簿 他

本市の率直的省エネ行動の推進

＜本市の取り組み＞

- ◆省エネ法による管理標準の遵守(庁内省エネ推進プランの推進)

(2) 住宅・機器による省エネの推進

《取り組みの内容》

省エネ住宅の普及促進

＜本市の取り組み＞

- ◆Webサイト「こうふのeco」において、住宅等における温暖化対策や省エネについて身近で簡単にできる取り組みや、家庭における二酸化炭素排出の「見える化」についての情報提供

高効率給湯器の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆甲府市地球温暖化対策導入促進助成金（高効率給湯器等導入に対する助成）
：助成件数 320 件

<市民、事業者、NPO の取り組み>

【東京電力（株）山梨支店甲府支社】

- ◆高効率機器の設置状況について市への情報提供（側面的支援）

【東京ガス山梨株式会社】

- ◆エコジョーズ導入の推進による二酸化炭素削減 : 223 (kg-CO₂/台)

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆太陽熱温水器の有効性についてのノウハウの提供
各種学習会にて太陽熱温水器の利用促進のための情報提供を行う。
：開催数 37 回、参加者数 935 人

LED 照明の普及促進

<本市の取り組み>

- ◆防犯街路灯の設置及び LED 導入等への助成 : 新設・撤去・補修 64 灯
- ◆商店街団体が維持管理する街路灯の LED への変更の補助灯数 : 1,046 灯
- ◆Web サイト「こうふの eco」において、LED 照明導入による省エネ効果等について
情報提供
- ◆うちエコ診断において、LED 照明の導入効果等の提案 : 10 件

公共施設、道路、公園等照明の高効率化

<本市の取り組み>

- ◆中道交流センター施設の照明の一部 LED 化 : 中道支所（窓口センター）、廊下、
トイレ等に LED 照明を設置 : 設置数 240 基
- ◆都市公園等照明灯改修事業（省エネ・グリーン化推進事業）
：機器導入数 14 基（5.9 t -CO₂ 削減）
- ◆道路照明灯改修事業（省エネ・グリーン化推進事業）
：機器導入数 62 基（6.2 t -CO₂ 削減）
- ◆中央卸売市場の冷蔵庫施設の改修工事における LED 照明器具の設計等
：設置予定数 338 基（うち平成 26 年度設置済 135 基）

アクションプラン6

日々の暮らし

スマートムーブの推進

～移動を「エコ」に・健康で快適な賢い移動手段への転換～

イチ押しの取り組み

●甲府市レンタサイクル事業 【甲府市産業部観光課】

《内容》

環境に優しく気軽に周遊できる自転車を、市民や観光客の皆様の二次交通として利用することで、甲府市の自然や歴史文化を感じていただくことができます。市内7ヶ所の貸し出し場所にて、電動アシスト自転車を、1回500円/日（子ども用普通自転車は300円）でレンタルしています。

《ポイント》

甲府市レンタサイクル事業は、甲府ホテル旅館協同組合等の民間企業と甲府市の連携で実施しています。

観光に訪れた方から出張のビジネスマンまで、幅広い方々に利用されています。

平成25年度の貸し出し台数2,302台に対し、平成26年度は2,727台と、18%増となりました。環境に優しく、まちの風を感じられるレンタサイクルは、年々利用者が増えています。



◆お問い合わせ先：甲府市産業部観光課 TEL 055-237-5702

(1) エコドライブの推進

《取り組みの内容》

エコドライブの推進

<本市の取り組み>

- ◆市職員に対し、安全運転研修においてエコドライブについての啓発を実施
参加者数 : 336人
- ◆こうふのecoでのエコドライブの実施方法の紹介
- ◆うちエコ診断でのエコドライブの実施効果の提案 : 15件

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【NPO法人みどりの学校】

- ◆エコドライブ普及啓発(学習会での情報提供) : 実施回数 13回、参加者数 662人

(2) エコ通勤・エコ通学等の推進

《取り組みの内容》

公共交通機関、自転車、徒歩等による通勤の推進

<本市の取り組み>

- ◆エコ通勤トライアルウィークへの参加 : 延べ参加者数 611人

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆「エコ通勤優良事業所認証制度」を取得【(株)東日製作所】
: 実施事業所数 1社(70人)

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆「エコ通勤奨励制度」による通勤手段のエコ化によるCO₂削減
: 参加者数 6人(602kg-CO₂削減)

電動アシスト自転車、電動バイクの普及促進

<本市の取り組み>

- ◆「こうふのeco」において、甲府市レンタサイクル事業等の情報提供

(3) 公共交通機関の利用促進

《取り組みの内容》

公共交通機関の利便性の増進

<本市の取り組み>

- ◆県、バス事業者と協働により、路線バスの利用促進のためのイベントを開催
- ◆県主催のエコ通勤促進事業に参加するとともに、市HPに掲載し、一般事業者の参加を促す。 : 市職員参加者数 611人
- ◆わかりやすい公共交通情報の提供として、市民が便利なバス情報を活用できるバスコンシェルジュの普及啓発を図る。
- ◆公共交通に対する地域主体の取り組みを支援するため、地域説明会を実施
: 実施地区 2地区

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【山梨県バス協会(山梨交通株式会社)】

- ◆山梨県バス総合案内システム「やまなしバスコンシェルジュ」の運営に参画
現行のバスロケーション情報(バス停の位置・バス路線・時刻表・バスの現在の走行位置・乗換経路・最寄りの観光情報など)に提供情報を付加するシステム改良を行い、より利便性を向上し、路線バスの利用促進を図る。
: サイトへのアクセス件数 約44,800回/月平均

コミュニティサイクル事業の推進

<本市の取り組み>

- ◆電動アシスト自転車の貸与による「レンタサイクル事業」: 利用者数 2,727台

循環型社会の構築

～持続可能な社会の実現～

イチ押しの取り組み

●菜の花栽培 【生活協働組合パルシステム山梨】



《内容》

生活協働組合パルシステム山梨が事務局をつとめる「バイオネットやまなし」では、平成16年より地域自立の持続可能な資源循環サイクル推進のために、菜の花栽培に取り組んでいます。菜の花の種まきや菜種の収穫は「田富みかさ幼稚園」の園児に毎年協力していただき、園児の環境教育にも役立てています。

《ポイント》

菜種を収穫し、種を搾って菜種油を採り、使用済みの菜種油からバイオディーゼル燃料を精製しディーゼル車の燃料にするという一連の流れを目指して活動しています。平成26年度も田富みかさ幼稚園の園児とともに、前年10月に播種作業で育った菜種約70kgを6月に収穫しました。

収穫した種から菜種油を圧搾できる業者が山梨県内にないため、輸送料などが高額になってしまう事や、ある程度の量が集まらないと搾油を依頼できないといった課題もあります。現在では900坪の畑を借り活動を行っていますが、今後、菜の花畑の拡大を目指しています。

また、バイオネットやまなしでは「廃食油回収キャンペーン」を年2回展開しており、行政をはじめ地元の団体などにご協力をいただき実施しています。

◆お問い合わせ先：生活協働組合パルシステム山梨総務部 TEL055-243-6327

(1) 廃棄物の3Rの推進

《取り組みの内容》

資源物排出の利便性の向上

<本市の取り組み>

- ◆資源物24時間ステーションの設置：甲府市自治会連合会と連携を図る中で、設置を希望する地区連合会や自治会と候補地の選定、地元住民への説明会開催などステーションの増設を図る。

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆容器の回収率 リユースびん〔68.0%〕、紙（牛乳）パック〔79.1%〕、A Bパック〔24.7%〕、商品案内（カタログ）〔82.9%〕、注文用紙〔84.0%〕、ポリ袋〔38.3%〕、たまごパック〔90.0%〕 食材セットトレイ〔39.8%〕 ※全県のデータ

ごみの分別回収による減量化、再資源化の推進

<本市の取り組み>

- ◆有価物回収事業 : 自治会への報奨金交付件数 388件
- ◆資源回収推進事業 : 資源物回収量 5,162t
- ◆陶磁器製食器のリユース・リサイクル事業 : 陶磁器製食器回収量 6,369t
- ◆リサイクル推進員活動補助事業 : 活動延べ人員 5,405人
- ◆ミックスペーパー分別回収事業 : ミックスペーパー回収量 1,901t
- ◆コンポストキットの配布 : 配布数 723セット
- ◆使用済み小型電子機器回収 : 回収量 10t
- ◆容器包装廃棄物（紙箱・紙袋・包装紙）の分別回収 : 回収量 26.3t
- ◆分別排出普及啓発チラシを作成。H27.2月に市内組回覧による周知、啓発を実施。
- ◆一般廃棄物収集運搬業者に対する事業系ごみの適正処理研修会の開催
- ◆中小規模事業者への訪問調査指導（ごみ減量化への働きかけ） : 件数 1,451社
- ◆多量排出事業者に対する事業系一般廃棄物削減等の啓発のため、事業系一般廃棄物減量化等計画書を提出させ、廃棄物の減量に努める。 : 計画書提出件数 91社

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆紙類の分別・回収・再利用 : 回収量 448t
- ◆廃プラスチック・木くずを回収し固形燃料(RDF)化 : 回収量 264t

【甲府商工会議所】

- ◆会員事業所から回収したミックスペーパーを古紙再生品（トイレットペーパー等）として販売し、リサイクルの啓発を図る。 : 古紙回収量 87,150kg

【甲府市自治会連合会】

- ◆組長会議や、自治会のイベント時、有価物収集日などにごみ分別指導を実施 : ミックスペーパー回収量 1,900.8t

リサイクルプラザの利用促進

<本市の取り組み>

- ◆リサイクルプラザの管理運営 : 利用者数 64,171人

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆リサイクルプラザを活用して自然エネルギー体験、ワークショップ等を開催
：開催数 3件、参加者数 88人

(2) バイオマス資源の「わ」の構築

《取り組みの内容》

生ごみの減量化、再資源化の推進、落ち葉の堆肥化の検討

<本市の取り組み>

- ◆生ごみ処理機器購入補助 : 補助件数 54件
- ◆生ごみ発酵促進剤 EM ボカシの無料配布 : ボカシ配布数 28,753袋
- ◆剪定枝・落ち葉や廃食用油などのバイオマス資源の活用
：落葉堆肥化容器貸与、落葉堆肥化キット配布 2人

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【国母工業団地工業会】

- ◆会員企業内社内食堂より発生する生ごみの堆肥化及び廃食用油の家畜の飼料化
(団地内企業7社による)
：生ごみ発生量 21,647kg、コンポスト 3,980kg (減量及び分解効率80%)、
食堂及び従業員持参の廃食用油回収量 90L

【NPO 法人みどりの学校】

- ◆生ごみの資源化の情報提供
各種学習会において、ごみ分別・削減や、EM ボカシ等の発酵促進剤による生ごみ
たい肥化についての情報提供 : 実施回数 12回、参加者数 773人

菜の花プロジェクト等の推進

<市民、事業者、NPOの取り組み>

【生活協同組合パルシステム山梨】

- ◆菜の花の栽培、種の収穫、廃食用油回収 : 廃食用油の回収 573ℓ

(3) 熱回収

《取り組みの内容》

<本市の取り組み>

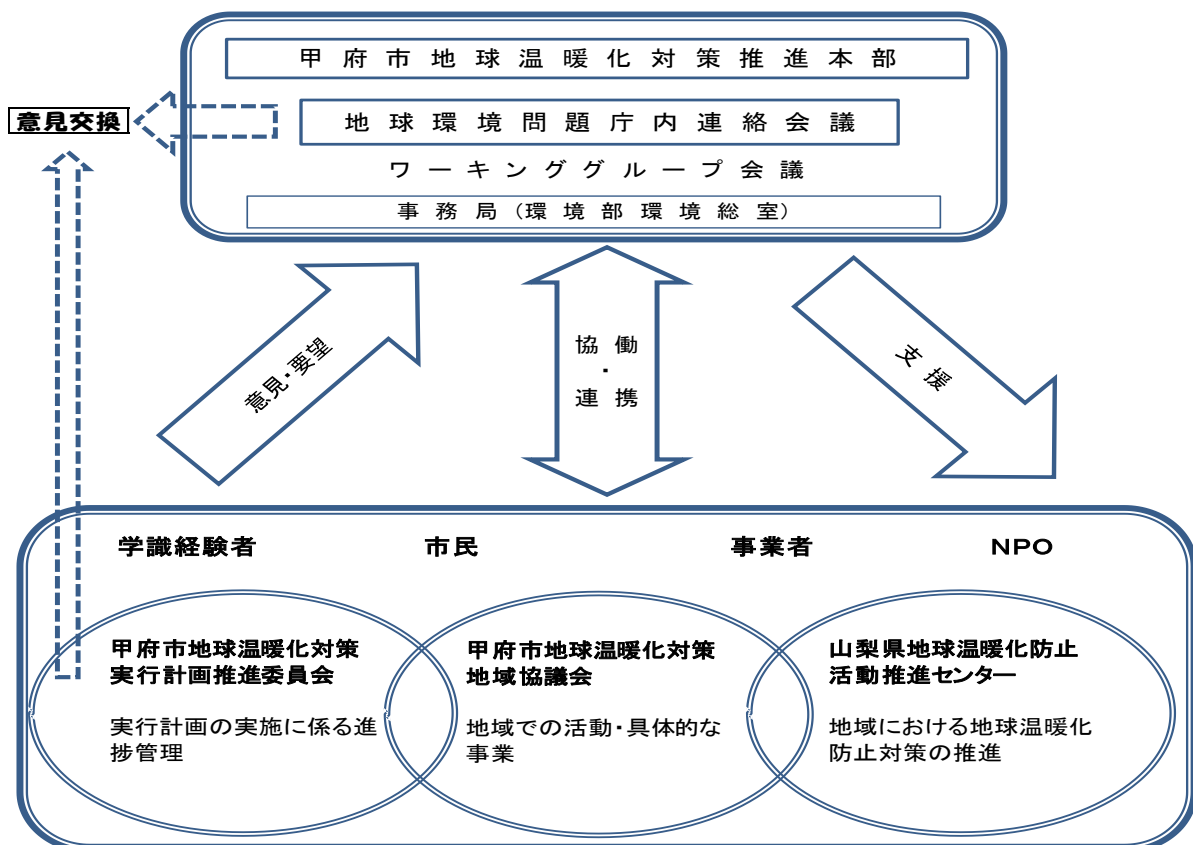
- ◆環境センター附属焼却工場における廃棄物発電 : 逆潮電力量 1,680,586kWh

第3章 施策の検証

1 実行計画の推進体制

- 本市では、実行計画の推進状況の検証や施策の推進方法について協議を行うため、市民、学識経験者、地元企業、団体、行政等の代表者で組織する「甲府市地球温暖化対策推進委員会」を設置しています。
- 推進委員会は、実行計画の推進に関することや進捗管理に関すること、評価及び見直しに関すること等を所掌しています。
- また、推進委員会には実行計画の専門的な調査、検討を行うための部会を設置しており、部会では、施策の進捗状況について把握し、その結果につき個別評価を行います。
- 部会で個別評価した結果については、推進委員会に付し、全体で再評価を行い、取り組みに遅れがある場合は改善策を検討します。
- 庁内においては、実務担当者による「ワーキンググループ会議」、その上部機関として本市の対策を協議する「地球環境問題庁内連絡会議」、さらに地球温暖化対策に関する施策について本市が統一かつ総合的に推進していくことを目的とした「地球温暖化対策推進本部」があります。
- 庁内及び推進委員会において、実行計画の進捗管理を行うことにより、Plan（計画）、Do（実施）、Check（評価）、Act（改善）のPDCAサイクルによる施策の着実な推進を図っています。

実行計画の推進体制



2 甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会からの意見

- 平成 26 年度の「市の取り組み」及び「市域での取り組み」について、推進委員会からいただいたご意見等をアクションプランごとにまとめました。
- いただきましたご意見等は、これからの実行計画の推進に反映させていきます。

全体に対する意見

- 団体によって異なる成果指標で報告している取り組み（例：緑のカーテン…カーテン面積、苗の本数、設置箇所数など）があるが、統一した方がいいのではないかと。
- 現在の実行計画では、ひとづくりに関することとして、アクションプラン1「地域の担い手、協働による「わ」の構築」を設けている。しかし、他のアクションプランにおいても、普及啓発、人材育成等に関する取り組みを行っている（例：アクションプラン3「緑の育成・潤いのあるまちづくり」で緑のカーテン等学習会、アクションプラン6「スマートムーブの推進」でエコドライブ学習会など）。よって、「ひとづくり」で1つのアクションプランを設けるのではなく、アクションプランごとに、普及啓発、人材育成等に関する取り組みを設定するのはどうか。
- 年次報告書で、甲府市と市域の団体の取り組みを分かりやすくまとめているので、今後これを活用する方向で考えていけるとよい。

アクションプラン1 地域の担い手、協働による「わ」の構築《人づくり》

- ひとづくりに関することは成果指標を参加者数としているものが多いので、それが温暖化防止にどのように繋がったのか定量化が難しく、それを評価する方法を考えることも必要ではないかと。

アクションプラン2 スマートシティ甲府の創造《地域づくり》

- 事業者による大規模太陽光発電システムの導入では、景観・防災面での課題がある。今後は、一般住宅（屋根）を太陽光発電に活用することを考えるのがよい。

アクションプラン3 緑の育成、潤いのあるまちづくり《地域づくり》

- 甲府市地球温暖化対策地域協議会が市内小学校に緑のカーテン用の苗を配布しているが、配布したあとも学校から協議会に問い合わせをすれば、カーテンの作成に関する相談ができるような仕組みがあるとよい。

アクションプラン4 クリーンエネルギー自動車の普及《日々の暮らし》

- 電気自動車・燃料電池車の推進については、自動車の技術面に現状での課題があり、今の段階で推進に見切りをつけるというものでもなく、かといって強引に押し進められるものでもない、といった状況を踏まえ実行計画の見直しをした方がよい。

アクションプラン5 スマートライフの推進《日々の暮らし》

- LED、高効率給湯器などの導入実績集計については、現在の方法（市の助成金・補助金を利用した導入分の集計）では、実際の導入実績を拾い切れていないので、他の方法も検討してはどうか。

アクションプラン6 スマートムーブの推進《日々の暮らし》

- エコ通勤優良事業所認証制度については、事業者としては社員に負担をかけるのは難しく、目標 100 社に対して実績が 2 社という現状を見ても、何かしらインセンティブを提示して動いてもらう仕組みがあった方がいい。
- 自転車が行きやすいような道路整備が連動しないと、レンタサイクル、自転車での通勤・通学の推進が不完全になってしまう。

アクションプラン7 循環型社会の構築《日々の暮らし》

- 環境センター附属焼却工場で、ごみの燃焼熱を利用して蒸気による発電を行う取り組みがあるが、発電した電力を場内で使うほか、売電もしており、それが本当に有効な取り組みとなっているか、定量化できるとよい。発電量はどのくらいで、それがどのくらい買電量や温室効果ガス削減量に影響しているのかを、分かりやすく見せれば、循環型社会の構築のため啓発にも繋がるのではないか。
- 廃棄物の 3R の推進の目標値について、甲府市廃棄物減量等推進審議会が一般ごみの削減目標を示したので、実行計画の見直しにおいて取り入れるとよい。
- 「リサイクルプラザの利用者数」は、廃棄物の 3R の推進という目標の成果指標として適切なのか。

3 Act（改善）の方向性

平成 26 年度は、実行計画を策定してから 3 年目となり、全体的には数多くの施策や取り組みが実施されているが、いくつかの項目では未実施や取り組みが進んでいない項目もある。それらの取り組みについては、それぞれの状況や課題等を把握し、平成 27 年度の全体的な見直しにおいて、中長期的な展望の上、地域の特性や実情を踏まえた検討により、より実効性のある取り組みにより市域の温室効果ガス削減を目指す。

また、本報告書の有効活用を含め情報提供方法についても検討し、取り組み状況や実施方法などがより多くの人へ周知されるよう、改善を図っていく。

【資料】甲府市地球温暖化対策実行計画推進委員会の委員名簿

(委嘱期間：平成 26 年 11 月 26 日～平成 28 年 11 月 25 日)

代表区分	氏 名	所 属
学識経験者	〈委員長〉 鈴木 嘉彦	山梨大学名誉教授
	〈副委員長〉 箕浦 一哉	公立大学法人山梨県立大学 准教授
	井出 仁	山梨県エネルギー局エネルギー政策課 課長
地域関係者	萩原 爲仁	甲府市農業協同組合 代表理事専務
	笹本 嘉壽雄	中央森林組合 代表理事組合長
	高根 明雄	協同組合同母工業団地工業会 専務理事
	佐々木 宏明	甲府商工会議所 環境問題委員会 委員長
	望月 真	山梨交通(株) 総務部 部長
エネルギー 供給者	小俣 保広	東京電力(株)山梨総支社 渉外担当課長
	吉倉 雅人	東京ガス山梨(株) 常務取締役
教育関係者	川口 ますみ	甲府市公立小中学校長会
市民団体	白川 恵子	生活協同組合パルシステム山梨 理事長
	芦澤 公子	特定非営利活動法人みどりの学校 理事長
	石井 迪男	甲府市地球温暖化対策地域協議会 副会長
	鳥屋尾 健	山梨県地球温暖化防止活動推進センター 事務局長 (公益財団法人キープ協会)
	石川 百合子	やまなし木質バイオマス協議会 副会長
市民代表	内藤 久芳	甲府市自治会連合会副会長 (環境委員会 委員長)

甲府市地球温暖化対策実行計画(区域施策編)
平成 26 年度年次報告書

編集・発行/甲府市環境部環境総室環境保全課

〒400-0831 山梨県甲府市上町 601-4
TEL055-241-4312 TEL055-241-6190

甲府市ホームページ

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp>

甲府市温暖化対策情報サイト「こうふの eco」

<http://www.city.kofu.yamanashi.jp/smartcity/index.html>